

1、平成30年度の当初予算編成について

Q 予算要求額は、歳入見込み額を上回ると予想されているが、平成30年度予算の編成の進め方について伺います。

A 社会保障経費を初めとした義務的経費が100億～120億円程度の増加が見込まれ、財政調整額は、200億円程度になる見込み。歳入面では、29年度既決予算の見直しや無駄を廃止、ネーミングライツやクラウドファンディング及び、国庫補助対象事業の積極的活用を図り歳入確保に努めたい。(鈴木知事)

Q 三重の未来を切り開く攻めの取り組みとして、インフラ整備は大幅削減することなく積極的に展開するべき、いかがか？

A いつ発生してもおかしくない自然災害を最小限に抑える取り組みや、地域の活性化活動に資するインフラ整備など、安全・安心確保の取り組みは、三重の未来を切り開く真に必要な投資、優先順位を高くして着実に進めていくことが必要であり30年度予算編成に当たり前年度対比100%シーリングで対応したい。(鈴木知事)

2、人生百年時代について

Q 国において「人生百年時代構想会議」が立ち上がり、長寿社会の在り方について議論が始まりました。リカレント教育(学びなおしができる教育環境)や企業人材の採用仕組みを変える、社会保障制度の改革などが議論のテーマに成っています。人生100年時代といわれている今、県政においてもどのような視点で取り組まれるのかお伺いをします。

A 県政運営においても、人生100年時代は重要なキーワード、平成30年度経営方針では三重で学び働く誰もが能力を発揮できる人材育成と働き方改革を掲げ、超長寿社会では誰もが健康であることが大事、医療・介護の質の高いサービスが受けられる地域包括システムの充実や医療・介護等の人材の確保に努めていきます。(鈴木知事)

3、三重が選ばれる～

(1) 東京オリンピック・パラリンピック後を見据えた地域力・営業力のさらなる強化について

Q 国際水準 GAP 認証取得支援や県産食材の戦略的なプロモーションにどのように取り組まれるのかお尋ねします。

A 伊勢志摩サミットにおける首脳会議や配偶者プログラム、国際メディアセンターにおいて269品目の食材が使用され、三重の食の認知度や評価が大きく向上しました。三重のGAP推進大会の開催など、平成31年度をめぐりに農産物70件、畜産物6件のGAP取得を目標に東京オリ・パラを見据えた取り組みを強化していきます。(鈴木知事)

(2) 農業高校におけるGAP教育の推進について

Q 国際的視野に立った農業経営者・地域のリーダーを育成する、県内の農業高校におけるGAP取得にかかる取り組みについてお尋ねします。

A 海外で通用する食品の元となる農産物の生産工程管理や環境保全を学ぶことの重要性を認識し、農業高校の年間指導計画にGAPの指導と実践を位置づけ学習を推進してまいります。(廣田教育長)

4、三重を強く豊かにする～

(1) 大規模災害時における受援活動について

Q 南海トラフ大地震が発生した場合、本件では津波や建物倒壊などにより53,300人の死者が想定されるなど大災害が予想されている。被災地の状況把握や全国からの応援に関する課題など、県が策定を進める「三重県広域緩援計画」(仮称)の検討状況についてお尋ねします。

A 熊本地震のあった熊本県や益城町の状況を調査すると、国や他県からの物的支援をひるまず受ける事の重要性を学び、広域支援の人材を適材適所に配置する事が出来なかった益城町の実情を聞き、「広域緩援計画」の必要性を改めて把握した。有識者の意見も聞きながら県と市町の連携した「三重県広域緩援計画」の構築に向け取り組んでいます。(鈴木知事)

5、三重で生きる～

(1) 安心を提供する医療・介護の連携について

Q 地域医療構想は2025年問題ともいわれ、団塊世代が後期高齢者となる2025年の医療需要に対して、医療提供体制を整備する方向性を定めたもの。市・町が取り組む地域包括ケアシステムは、医療・介護のニーズを併せ持つ地域の特性に応じた構築が必要。県の支援体制はいかがか？

A 情報不足・連携不足・ノウハウ不足などにより市町の取り組みに格差がついており、今年度から医療・介護関係者を支援するコーディネーターや連結アドバイザーの市町への派遣などに取り組み、現在策定中の次期みえ高齢者輝きプランの策定と次期医療プランと合わせて市町の支援をしていきます。(田中健康福祉部長)

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して



2018.02 第21号

前野かずみ県政レポート

発行 平成30年2月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



榊原かんこ踊り宮入

ごあいさつ

陽春の候、皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年9月、産業・スポーツセンター(サオリーナ)がオープンし、市民の憩いと潤いをもたらす施設として、早くも100日目で10万人目の入場者にお祝いの記念品が贈られました。もう一方では、真宗高田派の総本山である専修寺の「御影堂」と「如来堂」が国宝に指定されました。国宝指定は、三重県初の出来事で祝賀ムードが高まる中、親鸞聖人の報恩講「お七夜さん」がつとまり専修寺の門前には露店が並び、いつにない賑わいで溢れかえっていました。今年は、二つのお宝と周辺の観光施設を組み合わせ、津市の魅力をさらに高めていきたいと思っています。

私も、「情熱」をもって取り組み、直ちに「行動」し「信頼」される議員で、ありたいとの思いで「現場で仕事をモットー」に頑張ります。さらなるご支援のほど、よろしくお願いいたします。

三重県議会議員 前野かずみ



住み良い街づくり、**和み**と活力ある三重県政を目指して、前野かずみは行動します。**安全 安心 安定** ある三重県を目指して

津市の県政課題 白塚漁港を流通拠点漁港に

いつ起こるともしれない東南海地震、陸路が寸断されると救援隊や救援物資などの支援が遅れる。内陸部の拠点病院が崩壊・通電力不能に陥り医療機関としての活動が出来なくなる等、大規模被害が想定されている。

津市管理であった「白塚漁港」・「河芸漁港」を県管理漁港に昇格させ、流通拠点漁港として整備し海岸堤防の整備を県の事業として行うことで調整が進んでいる。

津市内には、耐震護岸を持った港はなく、白塚漁港を耐震強化岸壁を備えた防災拠点漁港として整備することにより、災害発生時に陸路からの救助・救援が絶たれたとき、海からの支援が期待されている。

政府は、多目的救難船を新造しており、手術用寝台2床、病床10床を備え、災害時の医療・入浴などの被災者支援など、災害時には病院船として活用できると期待が高まっている。

災害時に、伊勢湾に多目的救難船が浮かぶことを想像すると、白塚漁港を利用した救援・救難体制をしっかりと整えておかねばなりません。「前野かずみ」の政治課題として今後も取り組んでいきます。



白塚漁港

リニア中央新幹線は亀山駅設置が有望 津市にとっても重要課題

2037年、東京大阪間が開通見通し、想定される三重県駅(亀山)と津市は隣接しており津市発展のためにもリニア新幹線を大いに活用しなければと大きな期待をしている。

東京・名古屋間が2027年開通し、リニアは40分間で走り抜ける。三重県駅・名古屋間は10分程度とされており、津市からでもアクセスが整備されれば津・東京間が1時間程度で結ばれることとなる。三重県駅から大阪へは20分。東京・名古屋・大阪経済圏が一つになってスーパーメガリージョンが生まれる、その一角を占める三重県も大手企業などが比較的安価な土地を目指して進出することとなり、津市北部は大きな期待が膨らむ、そのための準備を怠ることなく三重県駅開設まで19年。時間を有効に使って、三重県並びに津市のポテンシャルを高める活動をしていきます。



台風21号の残した爪痕

10月22日大型台風21号が襲来。県内にも大きな被害が出ました。伊勢市と玉城町に災害救助法及び被災者生活再建支援法が適用され、激甚指定され復旧に向けた支援が行われています。

津市においても451件786,468千円(状況精査により数値は変動)の被害が出ました。災害状況を現地調査し復旧に向けて取り組んでいます。



大里野田町新池市道崩落



榊原川護岸崩落

政策提言書提出

7月から8月にかけて、「自民党政調会・自民党会派・鷹山会派」の三者で構成する、友好団体要望聴き取り会を開催しました、「市町・各種団体」60団体と意見交換を行ないました。

要望聴取をまとめ、鈴木英敬知事に対して30年度予算に盛り込むよう政策提言書を手渡しました。



河川河床掘削事業

台風時の大雨に対する対策として、川の草木を撤去し、溜まった土砂を河川敷外に出し流水断面を確保することが重要であると要望してきた。

長野川に於いても地元要望を受け対策をしてきました。結果台風21号でもその効果が発揮され、大きな被害には至らなかった。



県政報告&親睦旅行のお知らせ

前野かずみをご支援いただきます皆様には、平日頃大変お世話になり、ありがとうございます。

前野かずみの政治活動を支えていくためにも、お一人おひとりとのつながりや前野かずみ本人へのアドバイスなど必要です。しかしながら、通年議会が取り入れられてから、お会いする機会も制約されております事から、親しく交流させていただく機会を作ろうと、どなたでもご参加いただける催しとして、「県政報告会&長島温泉観劇ツアーとお千代保稲荷参拝」を企画いたしました。是非ご参加の程よろしくお祈いします。

日時 平成30年9月18日(火)
場所 長島温泉湯あみの島・お千代保稲荷
出発時間 各地よりバスにて随時出発
参加申し込み(前野かずみ事務所)
事務所 059-254-6605

